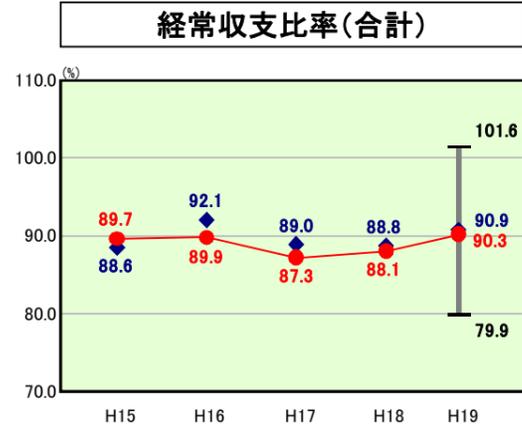


歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

千葉県 流山市

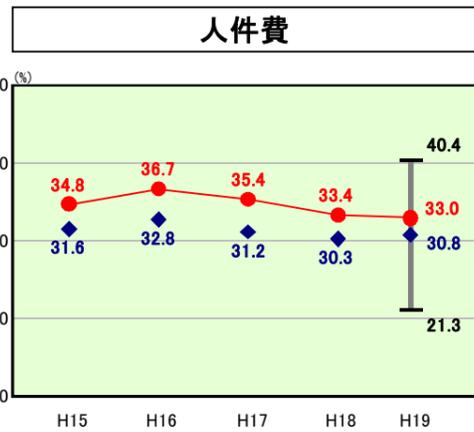
経常収支比率の分析



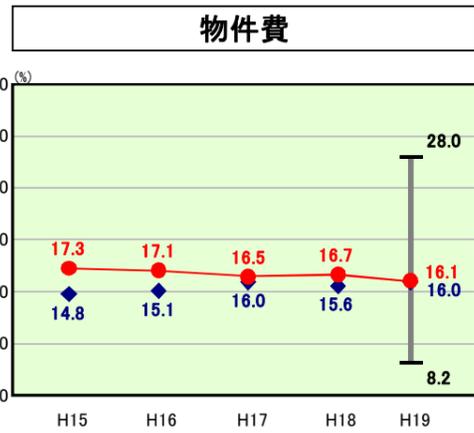
当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 T
類似団体内最小値 L

人口 156,073 人(H20.3.31現在)
面積 35.28 km²
歳入総額 36,752,390 千円
歳出総額 35,667,124 千円

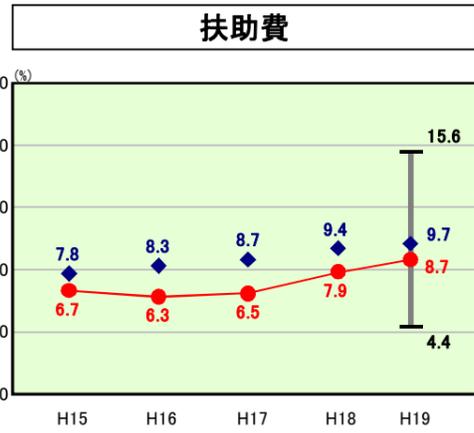
H19類似団体内順位 11/32
全国市町村平均 92.0
千葉県市町村平均 92.1



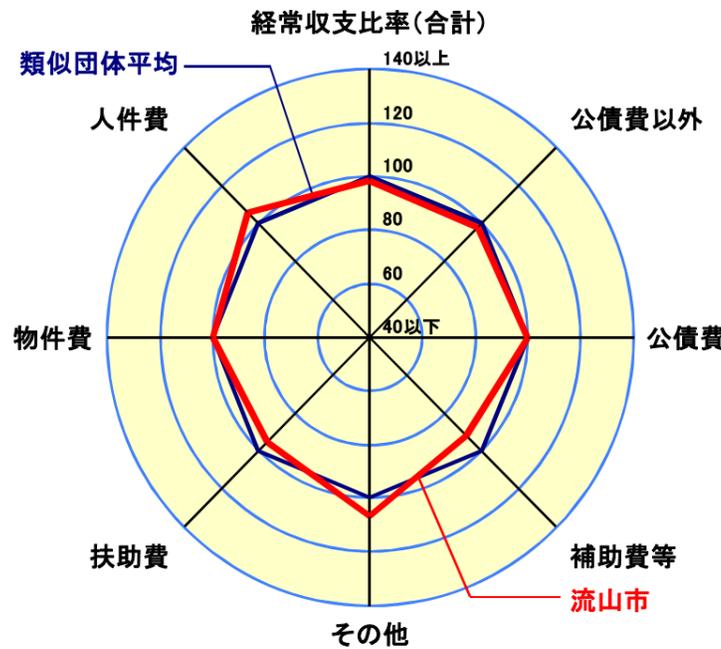
H19類似団体内順位 24/32
全国市町村平均 28.0
千葉県市町村平均 32.1



H19類似団体内順位 14/32
全国市町村平均 13.1
千葉県市町村平均 16.9



H19類似団体内順位 12/32
全国市町村平均 8.8
千葉県市町村平均 8.0



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

人件費
平成16年度から人件費が減少傾向にあり、人ロ一人当たり決算額では類似団体平均を下回っている状況であるが、経常収支比率は上向き傾向となっている。
定員適正化計画に基づきながら更なる人件費の削減を図る。

物件費
指定管理者制度やアウトソーシング導入等により人件費から委託料(物件費)へのシフトが起きているが、仕様の見直しや入札の徹底により、6ポイント削減することができた。

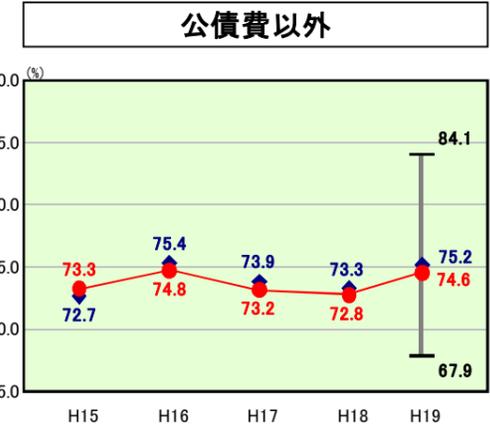
扶助費
類似団体平均及び全国市町村平均を下回っているが、乳幼児医療費の助成対象者の拡大や生活保護費の増加により年々上昇傾向にある。上昇率が大きいため財政硬直化を招く要因になる可能性がある。

公債費
歳出額は平成15年度をピークとして減少しているが、三位一体改革の影響により一般財源が増加していることから経常収支比率が上昇している。

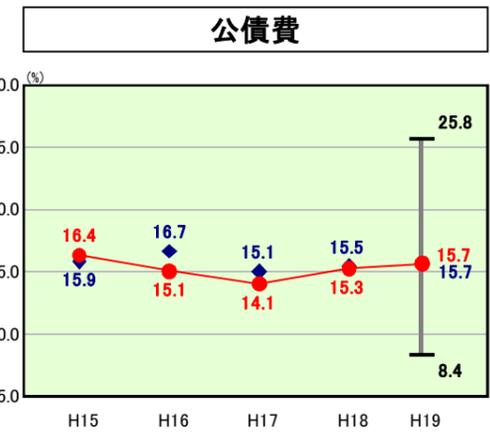
補助費等
類似団体平均と比較して低くなっているが、要因としては、ごみ処理業務や消防業務を一部事務組合で行わず直営で行っているためと考える。

普通建設事業費
人口1人あたりの普通建設事業費が類似団体と比較して高かったのは、平成15年度にリサイクル施設建設事業、ごみ焼却施設建設事業、17年度に土地取得事業(土地開発公社からの買戻し)等、19年度に小山小学校校舎等建設用地取得等の大規模事業を実施したためである。

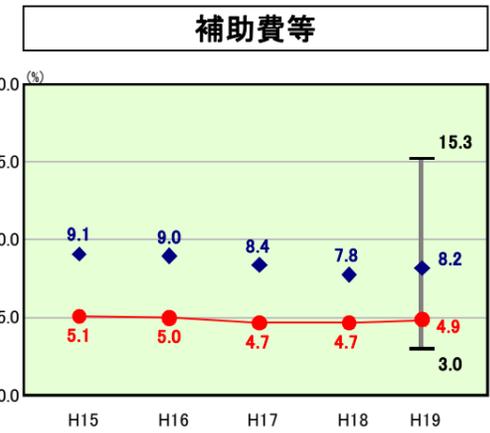
その他
昨年度に比べ1.8ポイント増加しているが、これは、老人保健医療事業、介護保険事業、国民健康保険事業、下水道事業(繰出基準の改正による)への繰出金が増加したことによる。



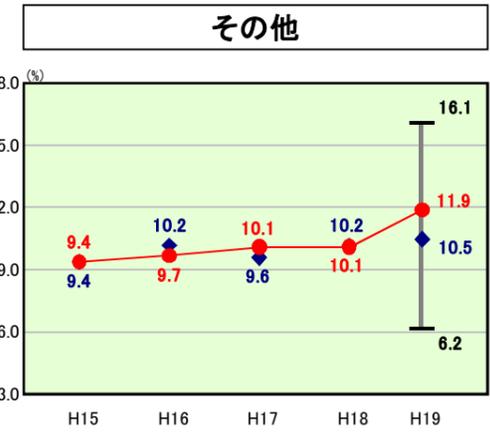
H19類似団体内順位 13/32
全国市町村平均 71.7
千葉県市町村平均 75.7



H19類似団体内順位 20/32
全国市町村平均 20.3
千葉県市町村平均 16.4



H19類似団体内順位 9/32
全国市町村平均 10.4
千葉県市町村平均 8.5



H19類似団体内順位 25/32
全国市町村平均 11.4
千葉県市町村平均 10.2